Ⅰ　男女平等意識や家族等について

男女の地位の平等感

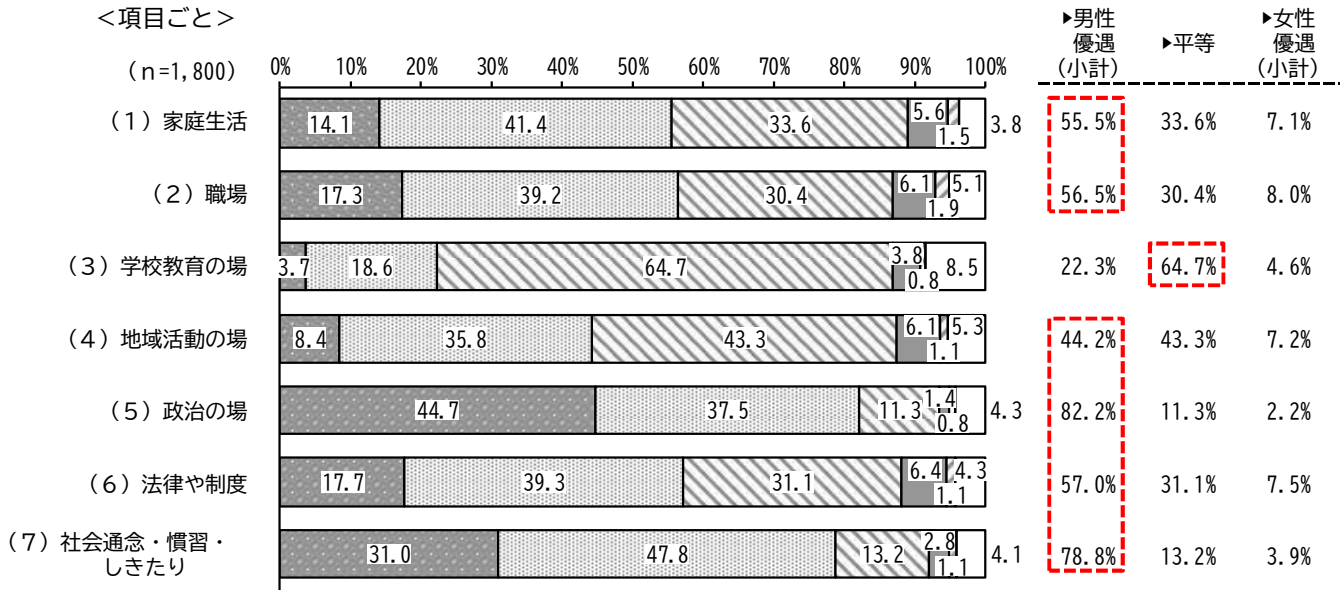
⇒ 冊子 22～39 ページ

➢ 項目ごとでは、学校教育の場を除き、「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が多い。

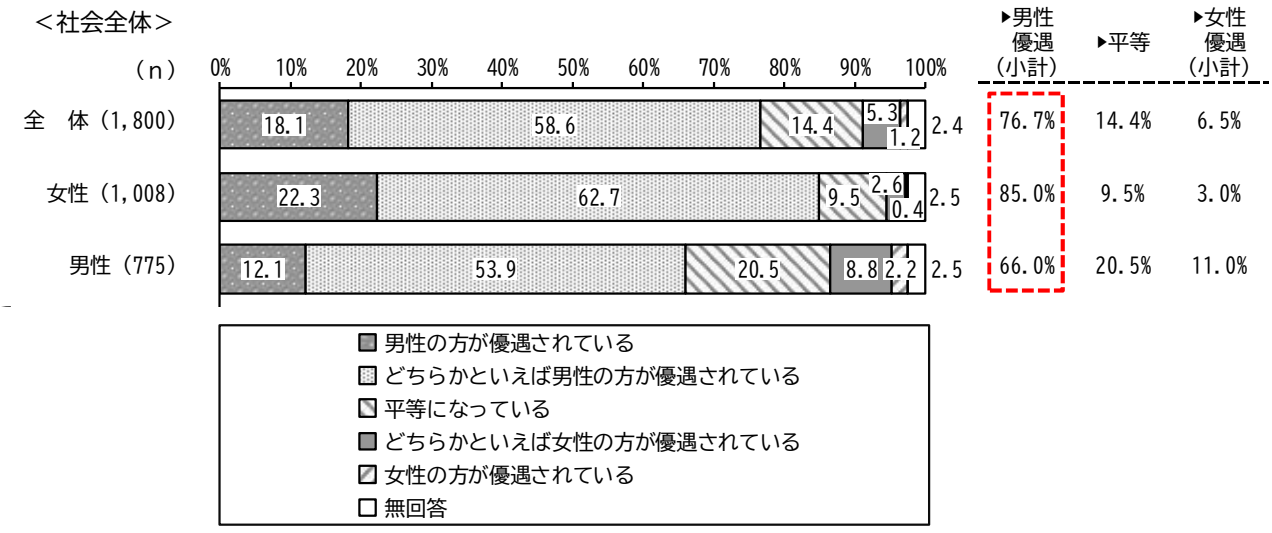
➢ 社会全体では、「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が多い（全体 76.7%、女性 85.0%、男性 66.0%）。

問　あなたは、次にあげる項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（単一選択）

＜項目ごと＞



＜社会全体＞



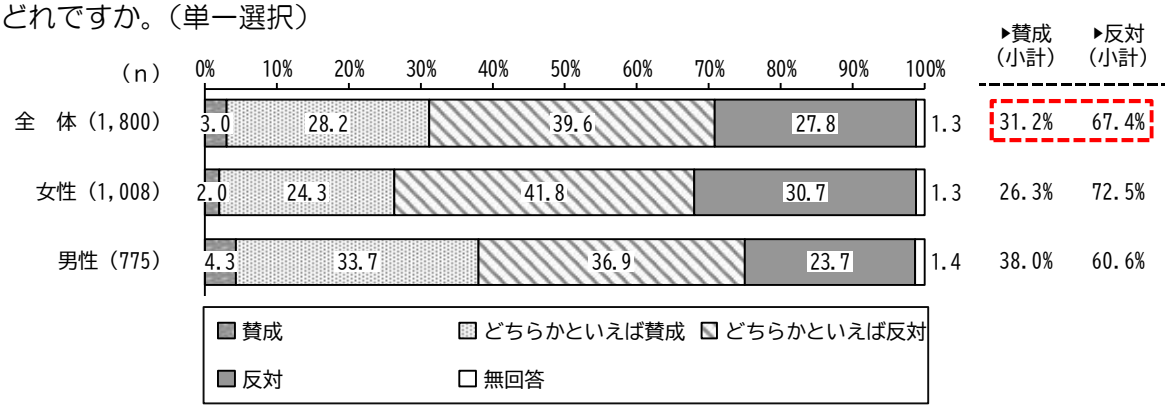
※前回調査では「わからない」という選択肢を設けていたが、今回調査から削除しているため、前回調査との単純比較はできない。

性別役割分担意識

⇒ 冊子 40～43 ページ

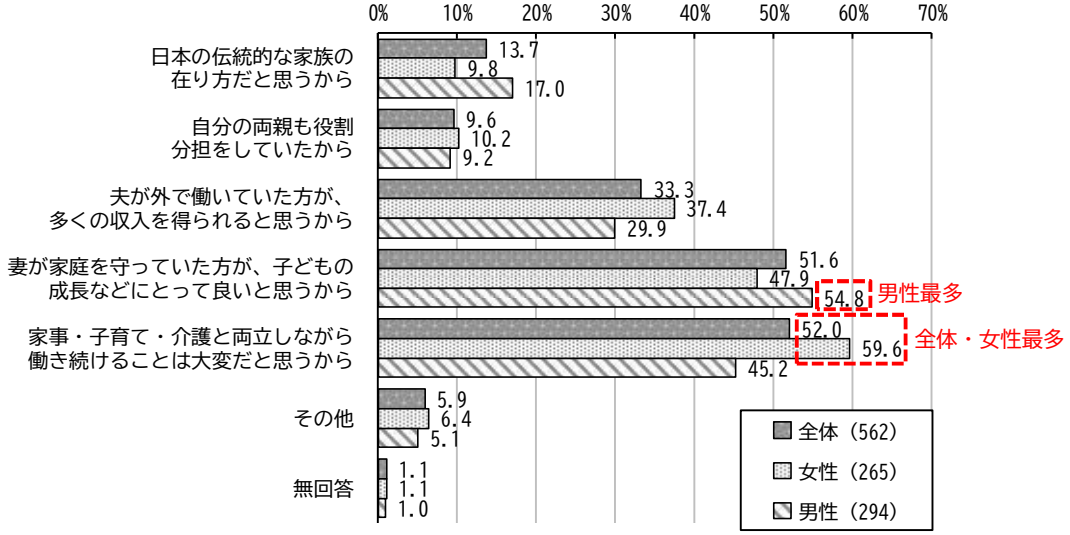
➢ **「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という固定的な性別役割分担意識について、「反対」又は「どちらかといえば反対」は 67.4%、「どちらかといえば賛成」又は「賛成」は 31.2%。**

問　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。（単一選択）

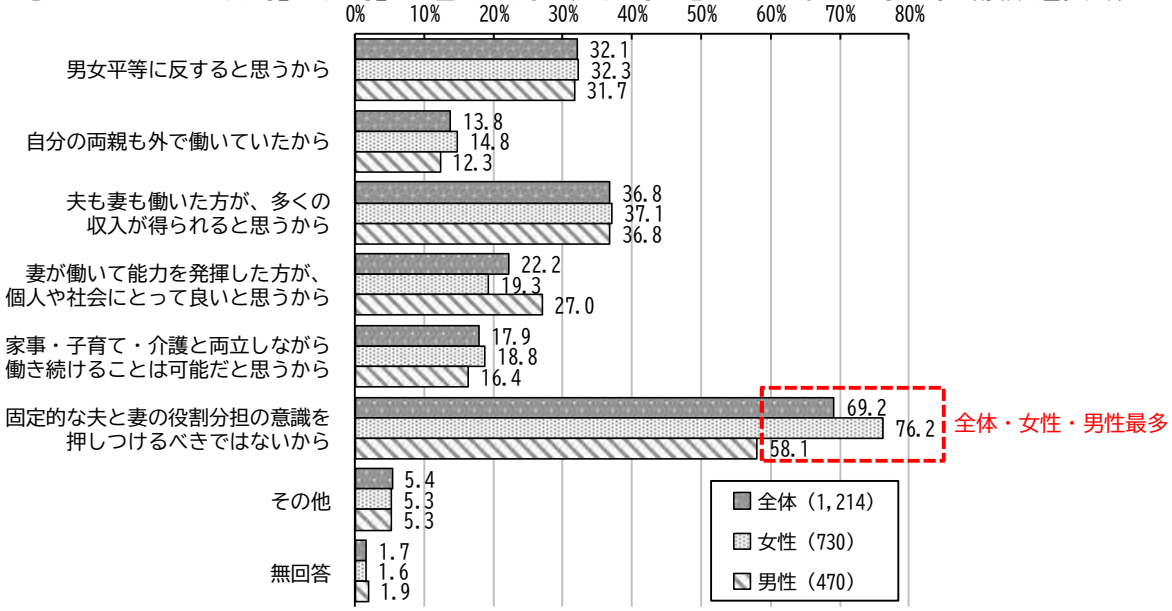


※前回調査では「わからない」という選択肢を設けていたが、今回調査から削除しているため、前回調査との単純比較はできない。

問　（「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方に）賛成と思うのはなぜですか。（複数選択可）



問　（「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方に）反対と思うのはなぜですか。（複数選択可）



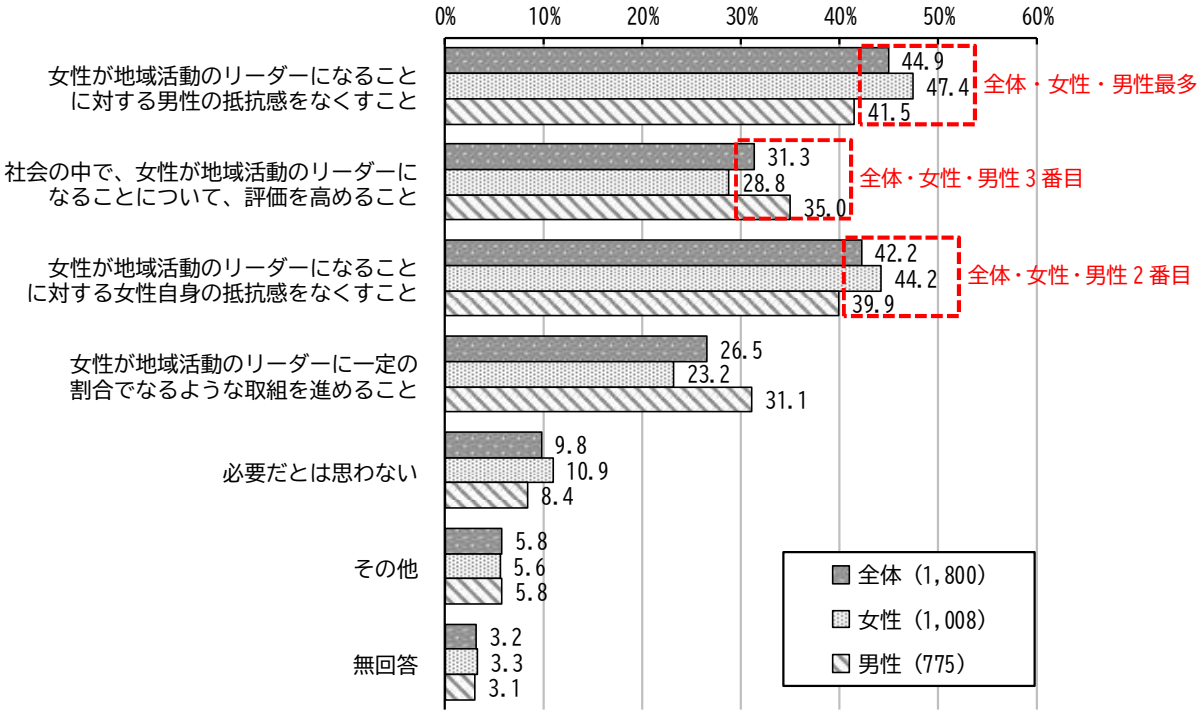
Ⅱ　地域での活動について

地域における方針決定過程への女性の参画

⇒ 冊子 52～53 ページ

➢ 女性が地域での活動のリーダーになるために必要なことについて、回答の多かった上位３項目は
①女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
（全体 44.9%、女性 47.4%、男性 41.5%）
②女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
（全体 42.2%、女性 44.2%、男性 39.9%）
③社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること
（全体 31.3%、女性 28.8%、男性 35.0%）

問　地域における方針決定への女性の参画についておたずねします。あなたは、自治会長やＰＴＡ会長など、女性が地域での活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択可）



Ⅲ　労働について

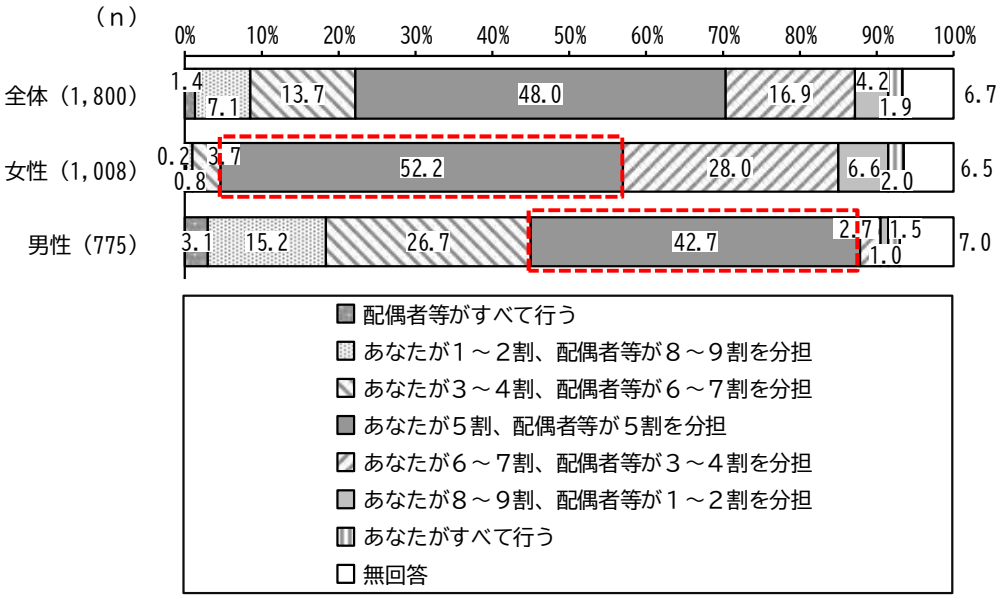
家事・子育て・介護の役割分担

⇒ 冊子 63～64 ページ

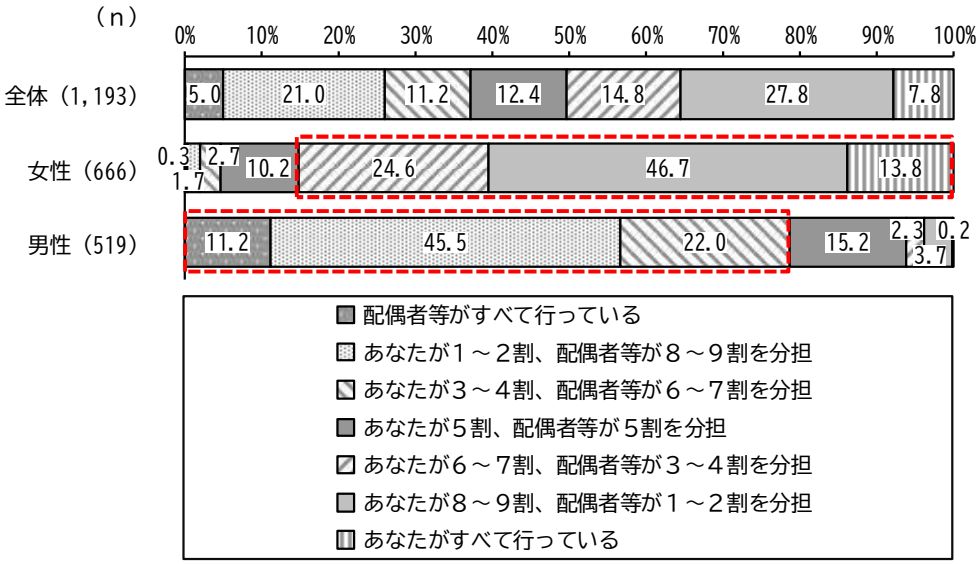
➢ **家事・子育て・介護の役割分担について、希望する分担は男女ともに「自分と配偶者等とで５割ずつ分担」が最も多い（女性 52.2%、男性 42.7%）が、実際の分担は女性に偏っている。**

問　配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）の間の家事、子育て、介護などの役割の分担についておたずねします。

配偶者等の有無や、家事、子育て、介護などをしている、していないに関わらず、あなたが希望する分担をお答えください。（単一選択）



問　（配偶者等と同居している方に）実際に、どのように家事、子育て、介護などを分担していますか。なお、同居親族が担う役割は含まずにお答えください。（単一選択）

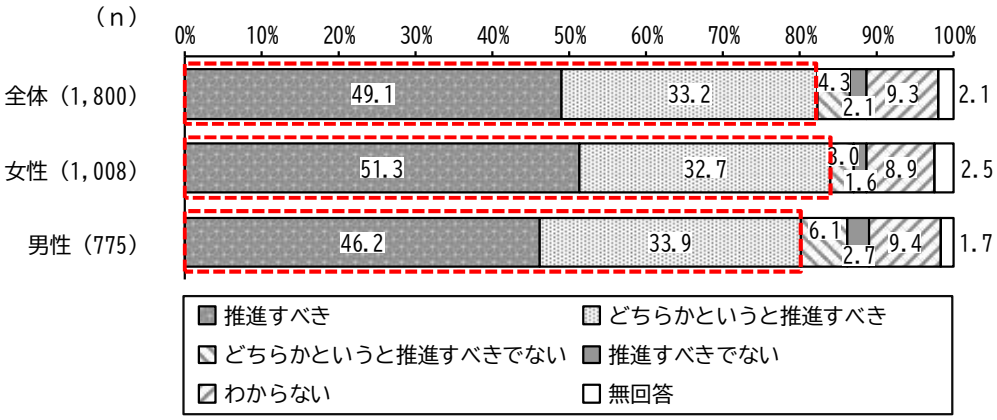


男性の育児休業の取得

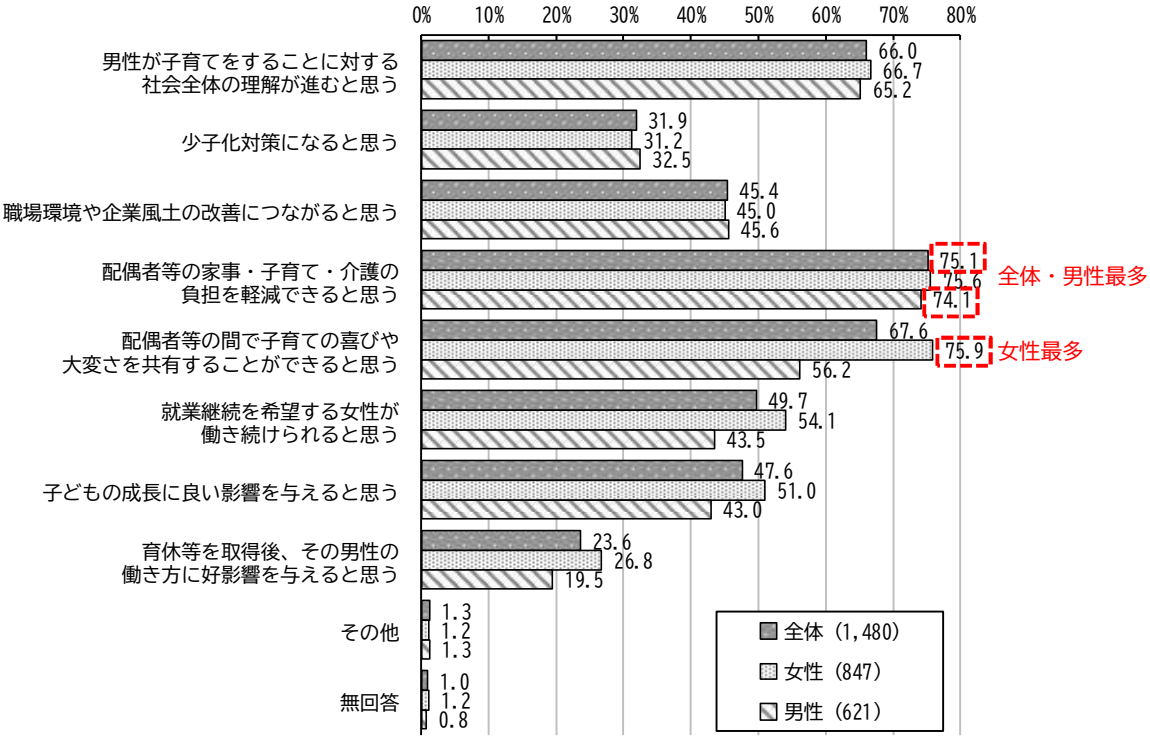
⇒ 冊子 65～68 ページ

➢ 男性の育児休業取得について、男女ともに８割以上が「推進すべき」又は「どちらかというと推進すべき」と答えた。（全体 82.3%、女性 84.0%、男性 80.1%）

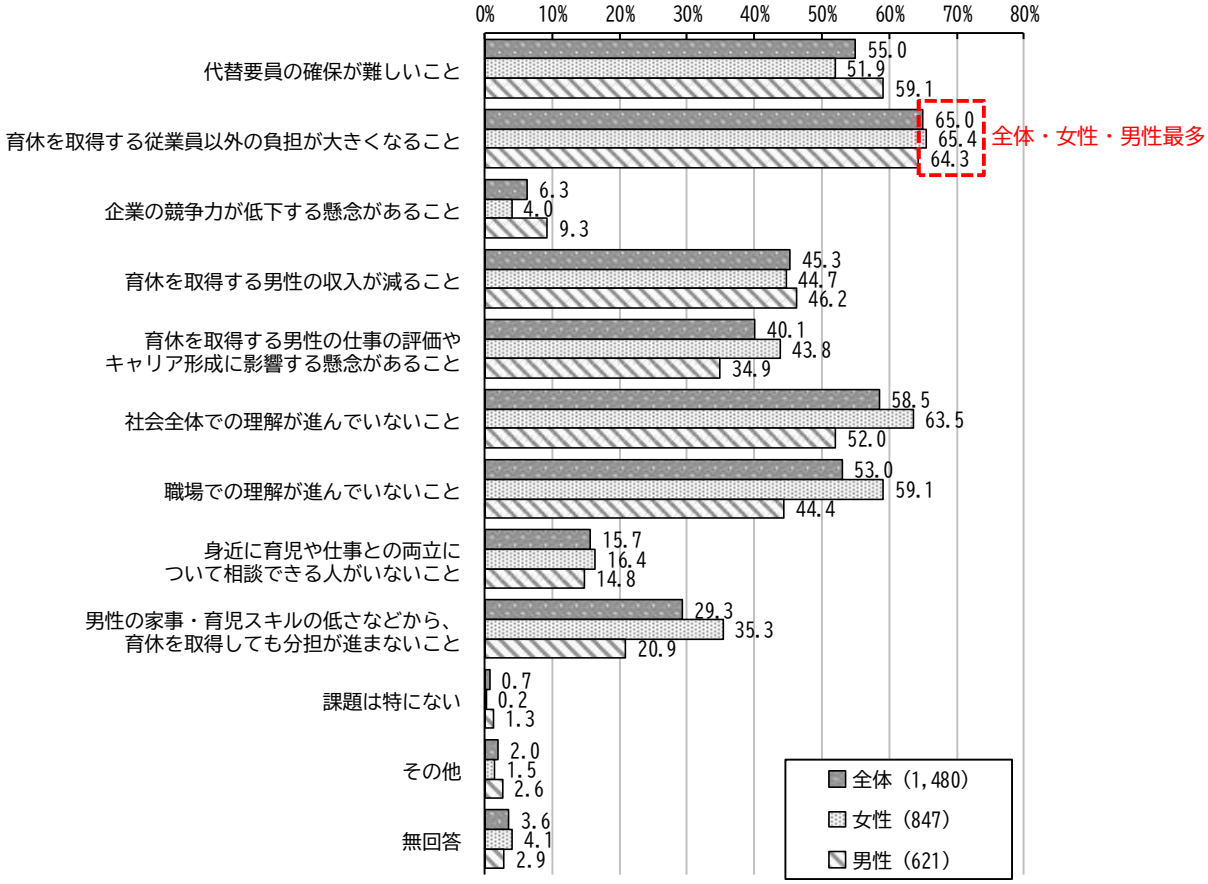
問　男性の育児休業の取得についておたずねします。あなたは、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。（単一選択）



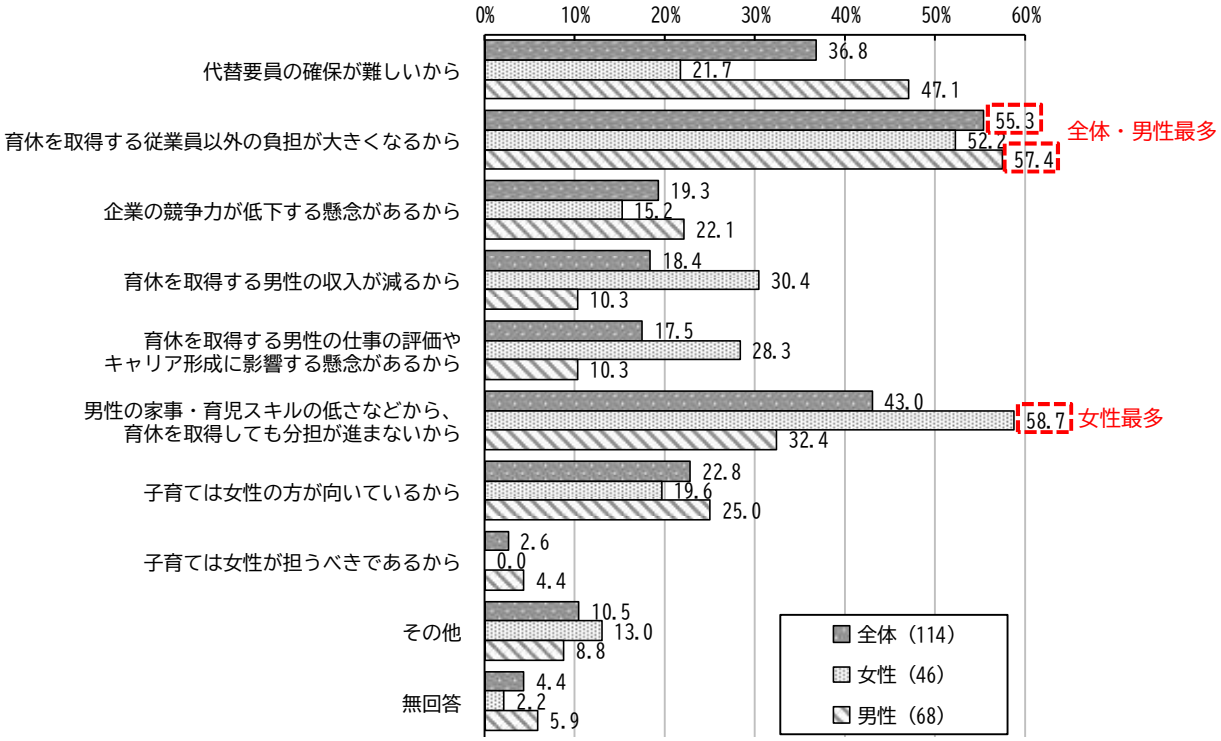
問　（「推進すべき」「どちらかというと推進すべき」と答えた方に）
あなたは、男性が育児休業を取得することで、どのようなメリットがあると思いますか。（複数選択可）



問　（「推進すべき」「どちらかというと推進すべき」と答えた方に）
あなたは、男性が育児休業を取得するうえで、どのようなことが課題だと思いますか。（複数選択可）



問　（「どちらかというと推進すべきでない」「推進すべきでない」と答えた方に）
そう考えるのはどのような理由ですか。（複数選択可）



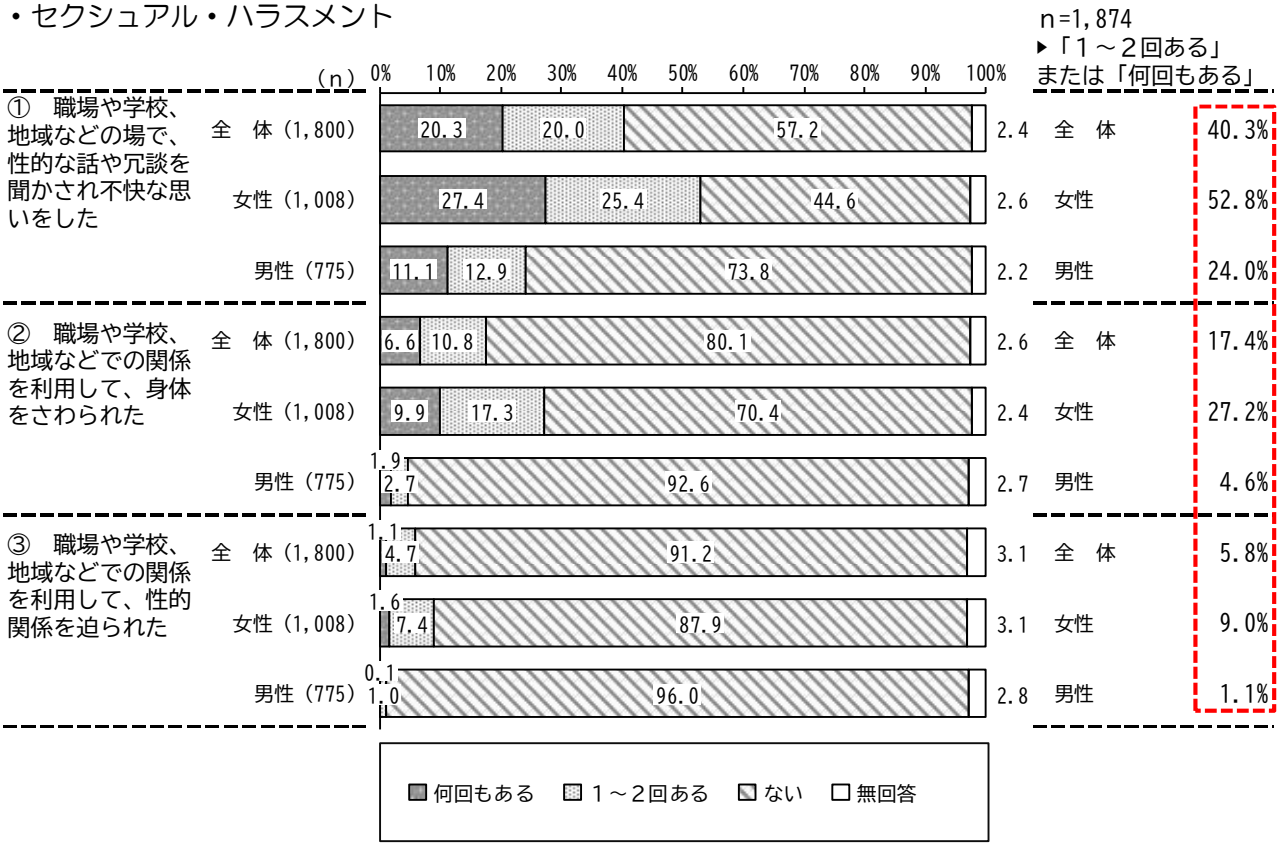
Ⅳ　人権に関わる問題について

あらゆる暴力の被害経験

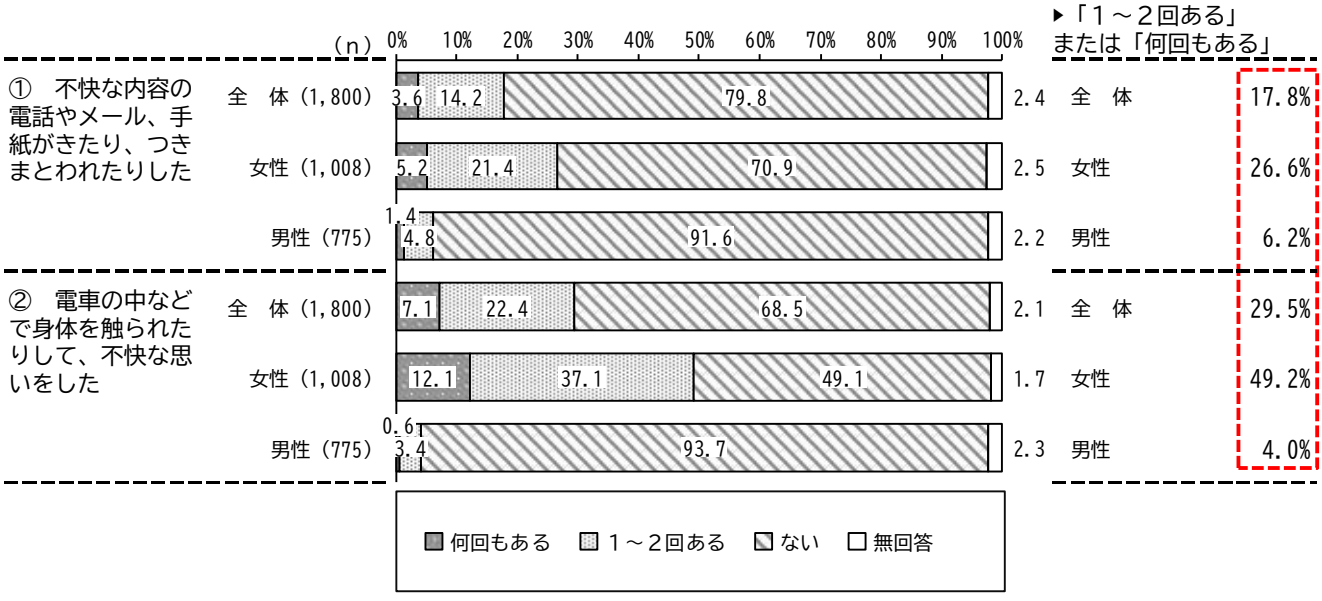
⇒ 冊子 70～82 ページ

問　あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。（単一選択）

・セクシュアル・ハラスメント

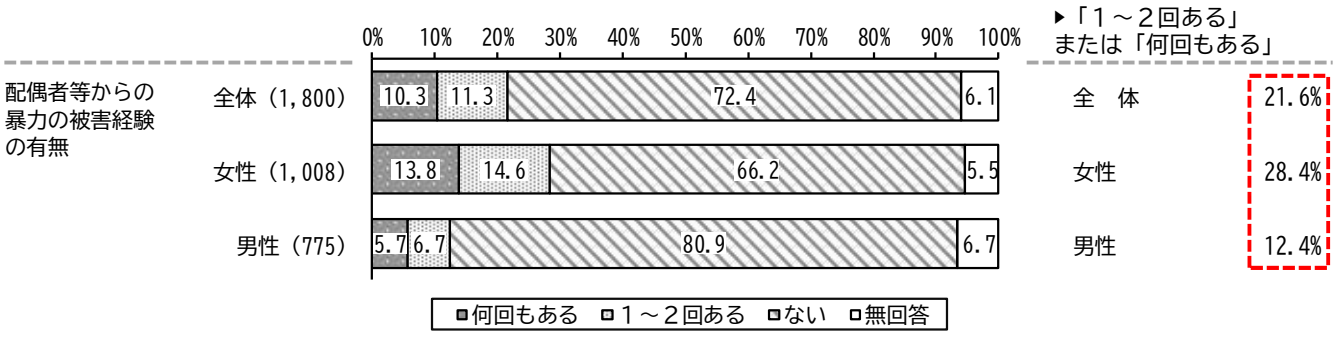


・ストーカー・痴漢行為



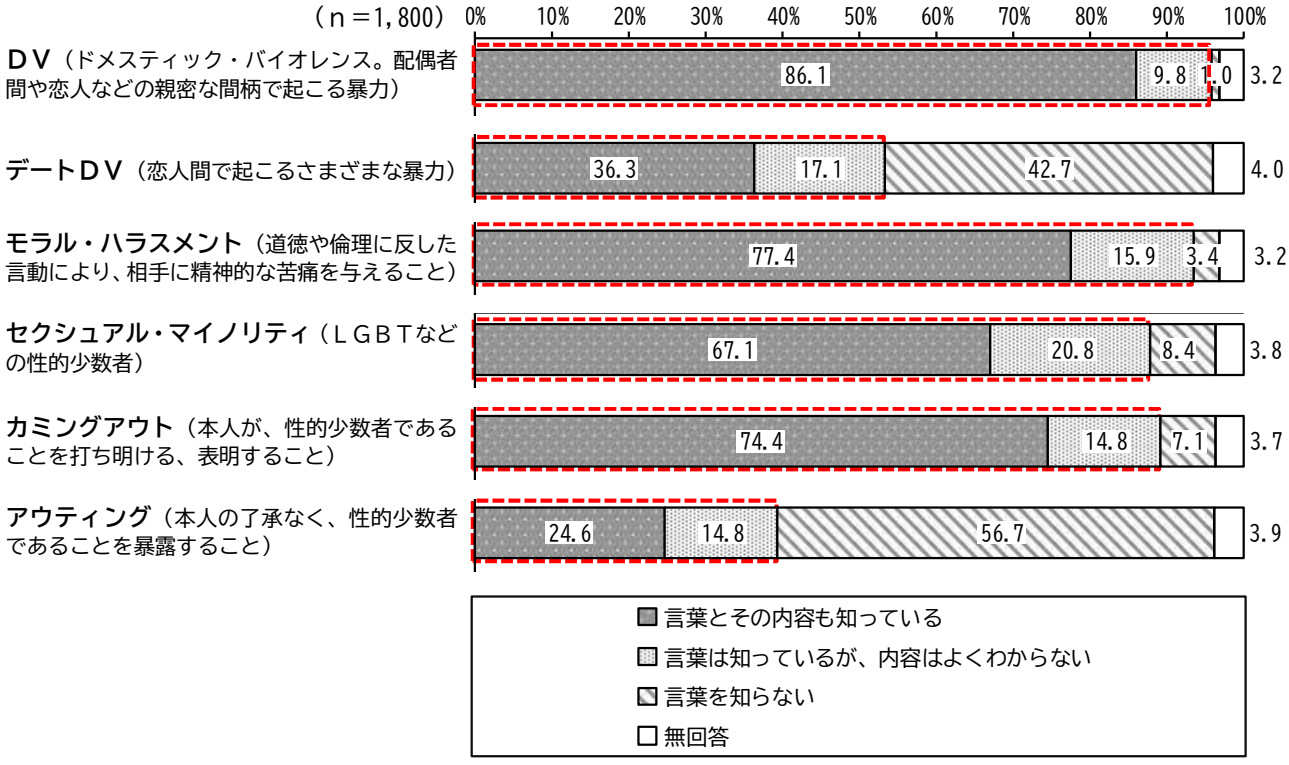
・配偶者等や交際相手からの暴力（ＤＶ）
（以下①～④のいずれか１つ又は複数経験したことのある割合）
①身体的暴行（殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの暴行）
②心理的攻撃（人格を否定するような暴言、交友関係の監視・制限、長期間無視するなどの嫌がらせ、自分や家族に対し刃物を突きつけるなどの脅迫）
③経済的圧迫（家計に必要な生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使う、デート代や生活費を無理やり払わせる、外で働くことを妨害されるなど）
④性的強要（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないポルノ映像等を見せる、避妊に協力しないなど）

➢ **女性の 28.4%（約 4 人に 1 人）、男性の 12.4%（約 8 人に 1 人）は、配偶者等や交際相手からの暴力（ＤＶ）の被害経験がある。**



言葉の認知度　⇒ 冊子 83～89 ページ

問　次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。（単一選択）

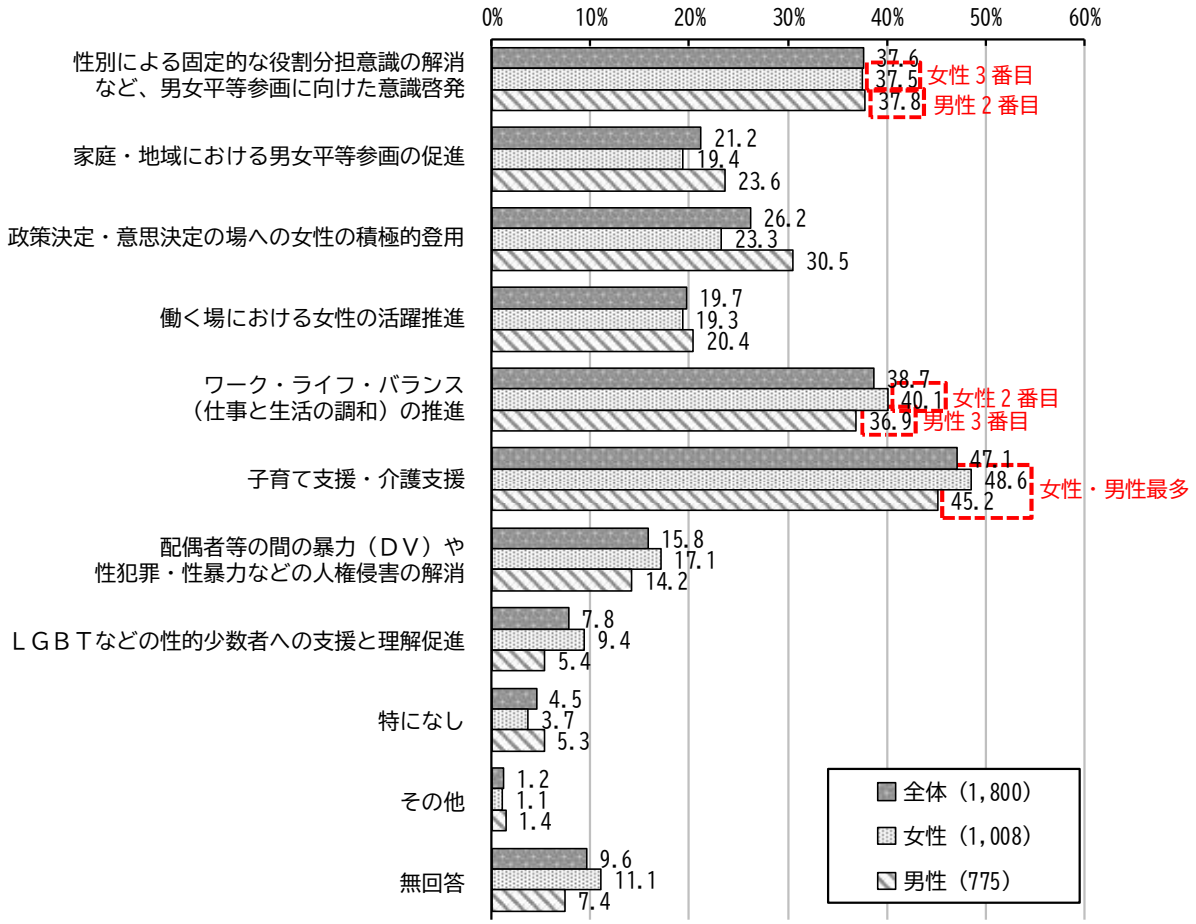


Ⅴ　行政課題について

男女平等参画の推進のために行政が力を入れていくべきこと ⇒ 冊子 91～93 ページ

➢ 回答の多かった上位３項目は

＜女性＞
①子育て支援・介護支援（48.6%）
②ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進（40.1%）
③性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発（37.5%）

＜男性＞
①子育て支援・介護支援（45.2%）
②性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発（37.8%）
③ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進（36.9%）

問　男女平等参画の推進のために、今後、行政は特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（３つまで複数選択可）